

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成	<ul style="list-style-type: none"> 「笑顔と輝きをうみだす」を教育実践のキーワードとし、自分づくり、関係づくり、未来づくりの視点から生命の尊厳を大切にされた教育課程の編成及び見直しを行う。 ロイロノート等教育DXを活用し、自己の学びの変容について実感できる授業改善を行う。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 園芸・飼育を4年生の委員会活動として位置付ける等、年間を通して命に関わる体験や学びができるように計画的に教育活動に位置付けた。 ロイロノート等の教育DXを活用し、各教科ごとの学びの達成度を意識づけられるような手立てを打つことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> やなっ子集会第2弾等、子どもたちが自分らしさを発揮できる場を意図的に位置付け、自己有用感の向上に努める。 単元ごとの自己の学びの変容を子どもたちが自身が実感できるような場の位置付けや見届けを行う。(ポートフォリオの継続) 	<ul style="list-style-type: none"> 児童のメタ認知を高めるために、ふり返りを大切にしていく。 前期後期末の学習のふり返りシートを今後も活用する。
コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会を通じて、地域連携を図りつつ、開かれた学校を目指し、保護者の協力、地域人材活用を積極的に推進する。 原三溪の学習等を軸に、中学校の出口である「自律」へ向けた指導を行う。中学校区および中学校と定期的に交流を行い、共通理解を図る。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方々との連携を図り、子どもたちが安心して学べる学校環境作りに心がけた。 学習のみならず「学校サポーター」として保護者の方にご登録いただき、子どもたちの生活や学びの支援をしていただいた。 どの学年でも様々な教育活動を通して、外部人材を活用しながら「自律」への指導を行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> さらに多くの方にサポーターとしてご協力いただけるように啓発していく。 原三溪の学習を軸に、地域の偉人に憧れをもち、各学年における「自律」への指導を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校、家庭、地域が連携して、子どもたちの健全な育成に努める。
あたたかさで働きがいにあふれる学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 多様な働き方の職員がそれぞれの持ち味を発揮し、互いに支え合う風通しの良い職場環境の構築に努める。 対話を重視し、定期的なフィードバックを行い、成果や努力の承認、感謝を伝える学校風土づくりを意図的に進行。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 互いの働き方を理解、尊重し、限られた時間の中でできる限り力を発揮できるような体制を整えた。 各先生の専門性や個性を生かした体制を整えつつある。 定期的に学年会が位置づけられており教員間で、教材や児童の情報共有ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> その都度、気になる点を出し合っ、さらに働きやすい体制作りに心がける。 感謝の気持ちを互いに伝え合うように心がける。 お互いのがんばりを認め合い、気付いたら声を掛け合う温かな関係作りに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な働き方をする職員がそれぞれの強みをいかして協働できるよう、情報共有の改善や相談しやすい仕組みづくりを進め、風通しのよい職場環境を整備する。 感謝の気持ちを言葉で伝え合える雰囲気づくりに努める。
子どもたちが安心して学べる学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 職員が自らの授業を磨き、子供と向き合う時間を確保できるよう、情報伝達にスマ運やteamsを適切に活用していく。 学年の枠を超えた児童や職員の関係性づくりを意図的に進行。 学級の課題は、学年や学校の課題ととらえ、全職員で対応する。 職員や保護者、児童に対して、敬意をもって接する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> teamsやロイロノートのアンケート機能を活用して、情報共有を進めることができた。 なかよし遊び、あいさつ活動、よさ見つけ、同フロアのペア学年の連携が充実している。 	<ul style="list-style-type: none"> 投稿された情報の理解、活用に関わる各自の責任の大きさを理解して、誠意ある対応ができるようにする。 総合的な学習など、次学年への憧れや見通しをもつ活動を意図的に仕組んでいく。 なかよし活動の内容を、より充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科担任制、帳票のテンプレート化を進め、職員の負担軽減を図り、児童と向き合う時間を確保する。
災害、事故に対する安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> 実践的な命を守る訓練を意識し、訓練日や災害発生場所の事前告知なしや休み時間の実施など、的確に自分の命が守れる行動ができるようにする。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 避難経路が封鎖されている、どの教室に不審者が入るか告知されない等、実際の場を想定した実践的な訓練を実施することができた。 訓練を通して、落ち着いて避難する方法を理解することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 訓練の実効性が担保されており、児童の自助行動が定着してきている。 訓練の結果を保護者にも学校便りなどで配信し、家庭内の防災行動も啓発できるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 想定外リスクへの対応力を高めるため、さらに様々な想定外の訓練を実施する。 訓練結果を保護者にも配信する。 児童主体の安全学習を意図的に仕組む。
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	<ul style="list-style-type: none"> 長期的見直しをもって予算要望を行い、当年度予算については計画的に執行するとともに、複数職員でチェックを行い適正に運用する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 年間を見通した予算要望を行い、計画的な予算執行ができています。 会計については、必ず複数職員の確認ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> 適正に執行されているので、今後も、計画的執行、適正運用を継続していく。 期末の不用額最小を目指し、執行計画の進捗管理をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 機器更新サイクルを見える化して、目標数値を年次比較してみる。